

令和7年度第2回（通算11回目）リハビリテーション委員会 議事録

日時：令和7年6月4日（水）19:00～20:30

場所：WEB開催

出席者：池上陽子 岩島千鶴子 榎勢道彦 大嶋志穂 岸本光夫 黒川洋明 小玉武志
小林健哉 郷間英世 佐藤匠 鈴木郁子 高塩純一 豊田隆茂 橋本悟 平野大輔 松山
英知 宮地知美 虫明千恵子 武藤茜 若松育子

書記：中村達也

【報告事項】

・議事録に記載すべき項目について委員長より報告があった。

・学術集会でのシンポジウムでの話題に関して、各部門から報告した。

PT部門：「電気インピーダンス・トモグラフィー（EIT）」を活用した呼吸可視化評価と個別の理学療法介入の実践、入所施設での人手不足による影響、重症度の高い児の参加などの報告を検討中。

ST部門：機能低下がみられる重症者の摂食嚥下について報告予定。

心理部門：ペイリーⅢについて報告予定。今回より島田療育センターの若松先生が委員に新規参加。心理部門では、年間2～3回のミーティングを開催予定。

【勉強会】

・小玉武志先生、佐藤匠先生（みどりの里）：これまでの経歴、研究、取り組みの報告

① 小玉先生：唾液アミラーゼを用いた重症児のストレス評価、「あそびログ」活動：視線
入力・スイッチ等を用いた地域支援イベント、海外（デンマーク・カナダ）での重症
児支援施設視察報告など

② 佐藤先生：騒音環境と重症児の緊張との関連、先天性関節拘縮症児への長期支援と変
形進行の対処、健常児と重症児の姿勢変化による圧分布比較など

・次の勉強会担当

・ST部門（島田療育センターの豊田先生、島田療育センターはちおうじの中村が担当）

次回は2025年8月27日（水）19:00～